

遊々の森「ふながた薬師の森」を利用した環境学習

山形森林管理署 最上支署

舟形町教育委員会と当支署が平成20年「遊々の森」として協定締結した舟形町『ふながた薬師の森』において、平成25年10月10日に舟形中学校1年生50名、先生5名の参加で環境学習が行われました。

森林官の講話の様子



当日は晴天に恵まれ、舟形町で自然環境保全活動を実践し「遊々の森」においても活動主体となっている「ブナの実21」のメンバーが中心となって環境学習を進め、ブナ林を散策しブナの鼓動を聞いたり、「薬師の清水」でのどを潤したりと、子供たちは貴重な体験を楽しんでいました。先生方

もブナ林など森の中に入る経験がほとんどないため、教室での顔と違いがあったりと笑顔あふれる内容となりました。

特に、今年は現地のブナの実が豊作であったことから、落下したブナの実を食味、一生忘れない思い出となったようです。

当支署からも2名が参加、「森林の役割」についての講話を実施し国有林のPRを行いました。このことは環境学習の一助になったものと考えています。

国有林では、この他にも各種イベントや学校などからの依頼により、『森林と環境』についての出前講座を行っておりますので遠慮なくご相談下さい。



聴診器で音が... 流れてる？